



東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

小学校教員の職務の負担感と多忙感・危機感の関連：
教員の視点に立った働き方改革の実現に向けて

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-07-05 キーワード (Ja): キーワード (En): public elementary schools, school factors, peripheral duties, quantitative survey, multi-level analysis 作成者: 品田, 瑞穂, 萬羽, 郁子, 小宮山, 利恵子, 佐々木, 裕子, 松田, 恵示, 中野, 幸夫, 田嶋, 大樹, 山内, 朋也, 酒井, 春名, 金子, 嘉宏 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2309/00173385

小学校教員の職務の負担感と多忙感・危機感の関連

—— 教員の視点に立った働き方改革の実現に向けて ——

品田 瑞穂*・萬羽 郁子**・小宮山 利恵子***・佐々木 裕子****・

松田 恵示*****・中野 幸夫*****・田嶋 大樹*****・

山内 朋也*****・酒井 春名*****・金子 嘉宏*****

本研究は、単一市内の全公立小学校に勤務する教員に対して定量調査を実施し、業務への負担感と、多忙感・危機感の関連を検討した。また、近年の業務量の変化に対する印象、業務の削減・効率化において生じる不安と、テクノロジー、行政に対する期待を測定した。分析の結果、大多数の教員が、学習指導要領の変化および児童・保護者の多様化によって業務量が増えていると感じていることが明らかになった。また、特に負担感の高い業務として、事務・報告書の作成、学期末時期の業務の集中、児童指導要録の作成、他校や団体と協力が必要な学校行事、保護者・PTA対応が挙げられた。マルチレベル分析の結果、事務・報告書の作成および保護者・PTA対応といった周辺の職務に負担を感じている教員ほど、多忙感・危機感が強いことが示された。

*東京学芸大学教育心理学講座

**東京学芸大学生生活科学講座

***東京学芸大学大学院教育学研究科／スタディサブリ教育AI研究所

****株式会社チェンジウエーブ

*****東京学芸大学健康・スポーツ科学講座

*****東京学芸大学広域自然科学講座環境科学分野

*****東京学芸大学児童・生徒支援連携センター

*****東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科

*****株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

*****東京学芸大学教育学部

Key words

公立小学校、勤務校要因、周辺の職務、定量調査、マルチレベル分析